

平成28年度 阿南市立阿南第一中学校評価書

I 経営の重点に関する評価

学校教育目標 「基本的人権を尊重し、心豊かにたくましく生き抜く人間を育てる」

A:大変よい, Bまあまあよい, C少し課題を感じる, D:課題である

項目	内容	評価	A, Dについてはコメントを付す
重点目標(重点的に求める価値目標)	1)「確かな学力」育成のために「学習活動の見える化」を推進する	A	全国学力・学習状況調査結果を大きく向上させた。
	2)学校・家庭・地域社会相互の連携により、家庭・地域から信頼される「地域の学校」を目指す。	B	
	3)あいさつ日本一の学校づくりをする。	A	大きな声で、教職員・生徒ともに挨拶ができています。
	4)人権教育の充実を図り、人権文化の花開いた学校作りをする。	B	
	5)部活動の充実を図り、体育・文化活動両面から生徒を育てる。	A	積極的に部活動で生徒の育成をはかれた。
具体的な取組 (組織として価値観を揃えて取り組むこと)	1)様々な生徒の学習活動や、取り組みを一目で分かるように掲示を工夫するなど「学習活動の見える化」に取り組む。	A	学習活動の見える化に学校あげて取り組んだ。
	2)生徒をみんなで育てる意識のもと、「ふれあい授業」を実践し、指導力の向上を図る。	A	空き時間を利用して、他の授業を観に行くことができた。
	3)授業のめあてや目標の掲示と、授業のまとめの時間の確保を実践する。	A	めあてや目標の掲示は全国を20%以上上回った。
	4)家庭学習の充実のために「家庭学習の友」の活用を一中校区として取り組む。	A	一中校区として取り組むことができた。
	5)「全国学力・学習状況調査」の方向性が求められる学力だと認識し、学校全体で問題について研修する時間と機会を確保する。	A	一丸となって取り組むことにより、結果の向上がみられた。
	6)英検、漢検、数検等に学校を上げて取り組み、たくさんの生徒がチャレンジできるムードをつくる。	B	
	7)全教職員が特別支援教育について正しい認識と理解のもと、「個別の指導計画」「個別的教育支援計画」に基づき、個々の生徒の実態に応じた適切な指導を推進する。	B	
	8)家庭との連絡・連携は、電話や文書だけでなく、直接の面談を常とする。保護者と共に生徒の育成に努める。	B	
	9)学校だより、学年だより、ホームページ、メール配信等によって情報発信を行い、保護者や地域と連携を図る。	B	
	10)生徒会や委員会活動の活性化を図り、生徒を中心とした活動に積極的に取り組む。生徒のアイデアを積極的に採用する。	B	
	11)人権アンケート等をもとに本校の実態を正しくとらえ、いじめのない学校づくりを推進する。	B	
	12)不登校等、さまざまな問題に直面している生徒・家庭と真摯に向き合い、欠席が続く場合は、学校長も保護者に面談し解決の糸	B	
	13)生徒と共に体育活動や文化活動に取り組むことにより、部活動の充実を図る。	A	それぞれの部で、全力で取り組み結果を残すこともできた。
	14)保幼小中の連携のため、「出前授業」を継続して行う。また、「幼児とのふれあい体験」にも取り組む。	B	「幼児とのふれあい体験」ができなかった。
評価指標 (具体的な求める子どもの姿・行動目標)	1)相手の立場に立って行動できる思いやりのある生徒	B	
	2)基本的生活習慣を身につけて、自らを律する生徒	B	
	3)意欲を持って何事にも根気強く取り組む生徒	B	

学校の自己評価・改善方針	「学習活動の見える化」に取り組んできた結果が、いい方向として現れ始めている。
学校関係者評価	○積極的な学力向上策がとられている。 ○保護者への情報発信を今以上に増やしてほしい。

II 学校評価

A:大変よい, Bまあまあよい, C少し課題を感じる, D:課題である

大項目	中項目	小項目	評価	A, Dについてはコメントを付す
1	教育課程	確かな学力	A	大変よく頑張った。
2	学習指導	運動・体力	A	県、全国平均を多くの点で上まわった。
3	教育課程、指導方法の工夫	TT指導の効果的な取り組み状況	B	
4		コンピュータの活用など情報教育への取組	B	
5		教材開発や外部人材の活用等、工夫した授業の取組	B	
6		学校図書館の計画的利用、読書活動の推進への取組	B	
7		体験活動、学校行事等の意図的・計画的実施	B	
8		保幼小中の円滑な接続を図る連携への取組	A	今年も小学校への出前授業をすることができた。
9		食育の指導計画、指導、評価の実施状況	B	
10		授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を生徒に示す活動を計画的に取り入れている	B	
11		授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている	B	
12		生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めている	B	
13		「家庭学習の友」の効果的な活用状況	A	一中校区で取り組めた。
14	生徒指導	楽しい学校	B	
15	学級経営	人格的発達のための指導	B	
16		安全で安心できる学校	B	
17		問題行動等への対応体制、他機関と連携の整備状況	B	
18		保護者と連携した基本的生活習慣育成への取組状況	B	
19		豊かな人間関係づくりに向けた意図的な指導への取組状況	B	
20		いじめ防止や規範意識の醸成のための具体的な取組状況	B	
21		人権教育	人権教育の充実	A
22	保護者・地域と連携した人権意識高揚への取組状況		B	
23	地域に学ぶ人権学習への取組状況		A	地域に学ぶフィールドワークの実施ができた。
24	人権教育推進に向けた職員研修の実施状況		A	大島青松園に研修に行くなどできた。

25	特別支援	特別支援教育の充実	「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成・実施状況	B	
26	教育	特別支援学級の運営	校内委員会の設置と全校支援体制の整備状況	B	
27			特別支援学級在籍生徒の自立活動状況	B	
28			特別支援学級と交流学級との連携状況	A	情報交換がしっかりとできていた。
	大項目	中項目	小項目	評価	A, Dについてはコメントを付す
29	進路指導	将来を見通した進路指導	キャリア教育・職場体験活動の実施状況	B	
30			進路指導のための保護者、地域との連携協力の状況	B	
31			進路情報の整備、活用状況	A	進路情報のコーナーの充実を図った。
32	保健管理	安全と健康の保持	「学校保健計画」(法定)の整備、実施の状況	B	
33			意図的・計画的な保健指導の実施状況	B	
34			生徒の健康状態の把握と管理の状況	A	行事前の健康調査を確実にを行い、対策を講じた。
35	安全管理	危機管理の徹底	学校事故への対応体制と対応状況	B	
36			保護者、地域、関係機関との連携の状況	A	一中校区防災対策会議を開くことができた。
37			「学校安全計画」「学校防災計画」(法定)の整備、実施状況	B	
38			危機管理マニュアルの整備・活用状況	B	
39			施設安全点検の実施と整備・改善の状況	A	月一回の施設安全点検を確実に実施した。
40	組織運営	意図的、計画的な組織運営	効率的な組織運営を可能にする校務分掌等、組織体制の整備状況	B	
41			効果的な会議(職員会議等)の実施と運営状況	A	職員朝会を週に2回に減した。
42			学校の財務運営の状況(計画・執行・決済・監査の状況)	B	
43			勤務サービス管理状況(健康管理・勤務時間管理)	B	
44			各種文書、個人情報の管理の状況	A	文書ファイリングシステムを活性化した。
45			学校・学級事務の情報化等、効率化の状況	A	ミライムの導入運営がうまくいっている。
46	研修	資質向上の取組	資質向上プログラム実施状況(面談等)	A	目標設定面談と最終面談を計画的に実施し成果をあげている。
47			継続的な授業改善等への取組状況	B	
48			効果的な校内研修の実施状況	B	
49			校外研修への参加状況	B	
50	教育目標 ・学校評価	目標の重点化	生徒の実態を踏まえ、重点化された目標の設定状況	B	
51			具体的な取組の設定	目標達成のための具体的な取組の設定状況	B
52		学校関係者評価の実施	効果的な学校評価の実施状況	B	
53			学校評価結果の次年度への活用状況	B	
54			効果的な学校関係者評価の実施の状況	B	
55			学校関係者評価委員の積極的な関与の状況	B	
56	生徒・保護者の意識の状況	生徒、保護者アンケートの結果	A	多くの項目で昨年度を上回る高評価をいただいた。	
57	情報提供	開かれた学校づくりを進める情報提供	情報提供のための様々な取組(学校・学年便り・メール、HP)の状況	A	ホームページの見直しと、メールの積極的な活用ができた。
58			学校公開の実施状況	B	
59			学校評価結果の公表状況	A	ホームページでも公開している。
60	連携	保護者・地域との学校の 活性化につながる連携協力	授業・行事等への保護者、地域住民等の参画・協力状況	B	
61			PTA、地域団体との連携・協力関係の状況	B	
62	教育環境 整備	施設・設備	教材・教具・図書の整備状況	B	
63			多様な教育活動に対応した教育環境(情報化等)整備状況	B	
64			余裕教室・特別教室等、施設・設備の活用状況	A	効率的に施設の活用ができています。
65					

学校の自己評価 改善方針	<input type="checkbox"/> 「全国学力学習状況調査」の問題を付けるべき学力の方向性と全ての教職員が共通理解のもと、学校あげて取り組むことができた。 <input type="checkbox"/> 読書活動の推進は、図書館、学級文庫を中心に行われている。その活動は充実している。また、学年の取り組みも充実してきたが学校全体としてより充実させていきたい。 <input type="checkbox"/> 特別支援教育における、自立活動の充実を図ることができた。 <input type="checkbox"/> 進路情報の掲示場所を充実させることにより、より精度の高い情報の発信を全学年に対して行うことができた。
-----------------	--

学校関係者評価	<input type="checkbox"/> いじめや友人関係には十分配慮してほしい。 <input type="checkbox"/> 情報化の推進がよく図られている。
---------	--